

2021年11月15日

## 取締役会の実効性評価（2022年4月期）について

当社は、取締役会に期待されている機能が適切に発揮されているかを検証し、その機能改善を図ってゆくことを目的に、今後年1回の頻度で取締役会の実効性評価を実施してまいります。

2022年4月期の取締役会の実効性評価においては、評価実施が初回であることから、取締役会にてその実効性把握の手法を議論し、当社取締役に対してアンケートを実施することとし、アンケート結果について分析、論点の抽出、取締役会でのディスカッションを経て、最終的な評価を行うことといたしました。

### 【実施内容】

- 実施方法 アンケート実施のうえ、結果について分析、論点の抽出、取締役会でのディスカッションを実施
  - 評価対象 2020年8月から2021年7月までに開催された当社取締役会
  - 評価者 全ての取締役（監査等委員を含む、計8名）
  - 実施時期 2021年10月
  - 概要・結果 〔アンケート項目（大項目）〕
    - ※実効性について5点満点で評価。各大項目の平均点をカッコ内に表記。
    - 取締役会のメンバー構成について（4.46点）
    - 議長の役割・期待について（4.63点）
    - 取締役の取締役会での発言について（3.88点）
    - 取締役会運営について（所要時間、付議事項、提供資料、事前準備など）（4.48点）
    - 取締役会の意思決定としての役割について（4.75点）
    - 取締役への研修機会、情報提供について（3.56点）
    - 取締役間のコミュニケーションについて（4.63点）
    - 取締役会のモニタリング機能について（5.00点）
    - 任意の指名・報酬委員会の運営について（4.88点）
- 〔自由記載項目〕
- 取締役会の実効性向上についての自由意見

**【分析および評価結果】**

- ✓ 取締役会の構成として社外取締役比率、能力・経験などのバランスについて概ね実効性を有するとの意見が多く占めた。
- ✓ 議長は取締役会運営において十分に機能を発揮しており、取締役会における迅速な意思決定において現状懸念点はないことが確認された。加えて、経営戦略・経営計画の策定においても適切に立案、実践されており、取締役会の関与も十分と考えられる意見が多くみられた。
- ✓ 課題点として、管掌部門以外の事案に対する取締役の発言が限定的となることがあることが挙げられた。
- ✓ また、運営面において資料配布や情報提供に余裕がなく、各取締役が十分な事前準備をして取締役会に臨むことができないことがある点が挙げられた。
- ✓ 取締役への研修機会の提供や情報提供にも改善を要する旨の意見も挙げられた。

**【実効性向上に向けた施策】**

今回の取締役会実効性評価の結果を受け、今後、以下のような施策を講じることで、取締役会の更なる機能と審議の充実と実効性の向上に取り組んでゆく。

- ✓ 取締役会資料早期配布や情報提供の充実
- ✓ 取締役の事前準備や意識改革による発言機会の醸成
- ✓ 取締役への研修機会の提供と、その周知の徹底

当社は、会社の持続的な成長と企業価値の向上のために、取締役会の実効性向上に今後も取り組んでまいります。

以上